

環境経営格付機構・木俣理事長に聞く



付とは。

木俣 社会からの信頼

すか。

木俣 評価は経営、環

すか。

の獲得と経済的な成果を
継続的に挙げることによ

境、社会の三分野で企業
活動の二十一側面につい

木俣 これまで一部上
場企業、百九社が参加し

木俣 企業価値を高め
ることにつながります。

法で企業を評価するので

—どれぐらいの企業が
格付活動に参加していま

—企業にとつてのメリ
ットは。中国地方の企業
はどこが参加しています
か。

て維持する方針で、一度
に評価できるのは二十社
程度でしょう。

第三者の目で企業を評価

価値高め、持続的発展目指す

環境経営格付機構（理
事長・木俣信行鳥取環境
大学教授）が企業価値を
高め、企業の持続的発展
を図る経営の普及を目指
して取り組んでいるサス
テナブル経営格付の二〇
〇五年度の結果がまとま
った。木俣理事長に格付
の意義や狙いを聞いた。

—サステナブル経営格
—具体的にどういう方
法で企業を評価するの
すか。

木俣 評価は経営、環
境、社会の三分野で企業
活動の二十一側面につい
て真の企業価値を高

め、企業の持続的発展を
て行います。〇五年度か
ました。〇五年度の参加
者は各側面について「あ
は決算期と評価の時期が
重なったため全国で二十
五社でした。〇五年度か
ら、それまでの研究開
発段階を終え、学会の自
主的な格付活動となって
います。第三者評価とし

ることは全国的にも有
名な企業が大半。弱点を
補強して総合的にバラ
ンスの取れた会社経営とす
る上で参考になるからで
しょう。中国地方では中
国電力が参加されていま

図る経営の普及を目指す
ものです。環境経営格付
機構が実行部隊になっ
て、文科省や環境省の補
助を得て〇二年度から取
り組んでいます。

ら、戦術確立、仕組
み整備、成果の三段階で、
企業活動の到達状態を評

—具体的にどういう方
法で企業を評価するの
すか。

—企業にとつてのメリ
ットは。中国地方の企業
はどこが参加しています
か。